



## 明るい社会のためにできることを

3月3日(日)

更生保護団体「土岐地区BBS会」が3日、発足しました。BBS会のメンバーは10～20代の15人で、悩みを抱える少年・少女に兄や姉のような存在として接し、保護司や保護観察所などと協力して非行防止活動を行います。メンバーによる所信表明では「自分にできることは少なくとも、恩返しをしたい」「1人で悩まなくてもいいと声を掛けたい」と、全員が抱負を述べました。



## 思いやりの心でみんな笑顔に

3月5日(火)

下石小学校に、岐阜地方法務局長と岐阜県人権擁護委員連合会長から感謝状が贈られました。同校は、東濃西部3市の小・中学校の中から今年度の人権推進校に指定され、仲間と協力し花を育てることで思いやりの心を育てる「人権の花運動」や看板の制作、人権について考える「ひびきあいの日」集会での標語の発表など、1年を通じて他人を思いやることの大切さ学びました。



## 絵本の楽しさを知ってほしい

3月10日(日)

図書館を中心に活動中の読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ会が文化プラザで開催され、25組70人の親子が参加しました。ボランティアらは大型絵本や手遊び、土岐市の昔話「稚児の岩」のペープサート(紙人形劇)などを感情豊かに披露し、絵本の楽しさを参加者に伝えました。子どもたちは一緒になって笑ったりして、まるで物語の一員になったかのようでした。



## 手作りコサージュでドレスアップ

3月14日(木)

駄知公民館で、生け花でコサージュを作る講座が開催されました。地元の生花店の方の指導を受けて、バラやカスミソウ、葉物をバランスよくまとめて保水性のあるテープを巻くと、手のひらほどのコサージュが完成。参加者は細かい作業に苦労しながら、手間を掛けて作ることに意味があると話し、親族の結婚式を控えた方は、「式には飾って出席したい」と喜んでいました。



Voice  
スプリング夢コンサート  
in TOKI 実行委員会  
委員長 野村弘子さん

音楽は楽しく、ワクワクしますし、苦しい時には力がもらえます。  
クラシックに親しみ、楽しさを知ってほしいと思い始めたコンサートが定着し、大勢の皆さんと開催できてうれしいです。

音楽は 心を豊かにする  
心がおだやかになる  
そして勇気をくれる



## 人生を音楽とともに

3月10日(日)

市内や近隣で音楽活動をしている方の発表と交流の場として開催される「スプリング夢コンサートinTOKI」が、文化プラザで行われました。このコンサートは毎回設定するテーマに沿って開催され、13回目の今年は「私の人生の一曲」。演奏の前には、出演者がそれぞれの曲に込めた思いが披露され、聴衆はその思いとともに声楽やピアノ、フルートの音色を楽しみました。



作る人から使う人へ

3月8日(金)～10日(日)



第3回クラフトフェアが土岐プラズマリサーチパーク内で開催され、市内の窯元や全国から集まったクラフトマン、各地のB級グルメなど、合わせて147ブースが出店しました。このクラフトフェアは「作る人・使う人・出会う場所」をテーマに、作家の思いの詰まった手作りの品を、使う人へ直接届けることのできる場となっています。来場者は、雑貨などを手に取って作家から商品の物語を聞きながら「自分だけの一品」を熱心に選んでいました。

あっ、と思って手にすると欲しくなっちゃいます。

